

第4回 運営推進会議

平成30年3月23日(金)

13:30~

デイサービス若芝



デイサービス若芝

次第



1. ごあいさつ 【センター長 渡部浩考】
～本会議の趣旨(目的)について～
2. デイサービス若芝の現況等 【センター長 渡部浩考】
3. H29年度後期の活動紹介 【統括マネージャー 渡部美保子】
4. 意見交換他 【統括マネージャー 渡部美保子】
 - －ご家族様からのご意見・ご要望
 - －地域の皆様からの声
 - －その他
5. 今後に向けて 【統括マネージャー 渡部美保子】

ご出席者の紹介



芝本町町内会長	N 様
芝本町民生委員	M 様
三島地区 地域包括支援センター	H 様
デイサービス若芝利用者様ご家族	K 様
デイサービス若芝利用者様ご家族	T 様
デイサービス若芝 センター長	渡部浩考
デイサービス若芝 統括マネージャー	渡部美保子

本会議の趣旨



利用者様(ご家族様)、市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにし、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図ることを目的としています。





デイサービス若芝の現況

【開設】

■平成24年1月1日認可

去る2月1日、6年間の指定期間の更新

- ▶ 地域密着型通所介護（要介護認定者）
- ▶ 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業対象者）

1日のご利用定員 …… 10名

サービス提供時間 …… 9:15～16:30

- ・開所時より「認知症ケア」へのこだわりを発信
- ・認知症の利用者様からのご支持をいただく。
- ・芝本町という商店街の方々に支えられて運営してきた6年
- ・姉妹事業所の「ふじしろデイ」も10年が経過
→10年という時間の中で地域との連携が増えてきました



関係事業所のご紹介

【関係事業所】

平成20年2月1日

居宅介護支援事業所ふじしろ(ケアマネージャーが常駐)

- H28年4月よりケアマネージャーを増員し積極展開へ
- ケアマネージャー3人体制で活動しています。



平成20年2月1日

ふじしろデイサービス(地域密着型通所介護)

- 10年という区切りを経て藤代町とも連携
- 藤代町内でのカフェ開設の検討も進めています
- 併設のケアマネ事業所との連携を磨いています

平成30年3月1日

デイサービス山風木(認知症対応型通所介護)

- 認知症の利用者様に特化した事業所
- 日常生活のリズム(穏やかな環境)作りにこだわっています





デイサービス山風木のご紹介

【平成30年3月1日 開所】

3月19日より実際に利用者様のご利用が始まっています！





デイサービス若芝の稼働状況

<ご利用実績>

ご登録人数: 23名

◆2月のご利用実績

平均稼働率 = 82%

※1日の定員10名に対して、毎日8名強のご利用(お休み等があるため)

<ご利用予定(3月20日時点)>

月	火	水	木	金	土
9名	8名	9名	9名	9名	8名

認知症が主訴である方が9割以上

ご自宅・・・安心できる場所
 若 芝・・・生活のメリハリをつける場所

三島市内の小規模事業所は9カ所まで激減しています。私たちの責任は重くなっていると実感しています。

介護度	人数
要支援 1	1名
要支援 2	0名
要介護 1	13名
要介護 2	4名
要介護 3	5名
要介護 4	0名
要介護 5	0名



デイサービス若芝の職員



<スタッフ像>

利用者様と正面から向き合う真摯な姿勢を持つ

気付きを大切にしてコツコツと物事を進める

諦めない心、健全な心、助け合う心 を持つ

- 人材不足(社会的な課題)にも目をそらさずに取り組んでいきます
 - ・女性の職場という課題(子育て、親の介護、出産)
 - 育児休暇取得支援、働き方の変更
 - ・介護業界が抱える労働環境の課題
 - 処遇改善や手当などの賃金面への取組
 - 育成主義を貫き資質を持ったスタッフをゼロから育成
 - 各年代のスタッフが仲間と協力して頑張っています！



H29年度後期の活動

<季節に応じた活動>

日々の活動に、季節感のある行事を交えて生活リズムを作っていきます。

月	活動
10月	秋の調理企画、外食企画
11月	防災訓練、年の瀬の準備、クリスマス装飾作り
12月	年末年始の装飾作り、年越しそば打ち、大掃除用の雑巾作り、芝本町の防災訓練
1月	正月企画、七草粥、体操指導、書き初め、手作り手ぬぐい
2月	節分、手作り味噌、桃の節句準備
3月	桃の節句企画、お彼岸、お花見

<その他>

- ・10月: ボランティアの石井さんがステップアップとしてアルバイトとして仕事に取り組み始める。(19才の若者の就業支援)→2月末で卒業
- ・1月: 新規事業所(山風木)の人材育成拠点としてスタッフの受け入れ



H30年度へ向けて

【H30年4月には介護保険法の改正があります。】

私たちの小規模事業所は現状維持という改正でしたが、介護事業所への要求は厳しく？なるばかりです。しかし！

＜小規模事業所の使命＞

小規模事業所が激減(H28.4から半減して9事業所に)

→小規模だからできることを愚直に追求しなければ退場

→小規模でも高い運営力が求められている

→地域に開かれた事業所にならない

＜認知症ケアを極めていきます＞

- －加屋町の新規事業所(山風木)と連携した認知症ケアのスタイル作り
- －小規模事業所だからできる認知症の利用者様への細やかな支援
- －認知症ケアのスキル・知識を磨き続ける。専門職のレベルアップ。
- －よろず相談所として様々な相談窓口になれる組織を目指す。
- －地域の安心に繋がる事業所であり続ける。

＜地域との関わり＞

お互いに遠慮しあう関係ではなく、気軽に声を掛け合える関係へ

ご意見を伺わせてください

キーワードは「地域密着(状況に応じた細やかな対応)」

(1) ご家族(ご利用者)様から

- ・サービス内容について
- ・良かったこと、改善してほしいこと etc

(2) 地域の方々から

- ・地域で考えていること／地域の情報
- ・地域に貢献して欲しいと感じていること

(3) その他

- ・情報交換etc